一般社団法人
持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）
Association for Support of Economic Sustainable Development for 21st Century
ESD21の新しい風を、企業に、地域に、そして国の未来へ

ESD21DX推進のためのわかりやすいサイバーセキュリティシンポジウム

～DX化とセキュリティ対策は両輪で進める～

2024年7月2日　14:00～17:20

場所：名古屋東桜会館　集会室

主催：一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）
後援：(公財)あいち産業振興機構、ITC中部、愛知県鉄工連合会、
日本自動車部品工業会、日本自動車工業会、愛知県情報サービス産業協会

本日のプログラム

司会進行：ESD21理事　鈴木常彦

14:00 - 14:10　「プロローグ」　ESD21顧問・理事　鈴木明夫
（挨拶,ESD21の紹介,DX推進のための鳥（経営者）の目で見た「サイバーセキュリテイのABC」）

14:10 - 14:50　①「自動車業界で話題のサプライチェーンを対象とした情報セキュリティ」
～TISAX（Trusted Information Security Assessment Exchange）～
講師：緒方心太郎氏（BSIグループジャパン株式会社）

14:50 - 15:30　②「経営者視点のサイバーセキュリティ」～「安全を保ち」「信頼」を守るために～
講師：太田油脂株式会社代表取締役　太田健介氏

15:30 - 15:45　（休憩）

15:45 - 16:25　③『最近のサイバー攻撃とその対策』（仮題）
講師：愛知県警察生活安全部サイバー犯罪対策課　井上和人氏

16:25 - 17:00　④『昨年発生した大規模サービス不能攻撃』
講師：中京大学工学部教授 鈴木常彦氏

17:00 - 17:20　質疑応答

「プロローグ」
(挨拶,ESD21の紹介,DX推進のための鳥（経営者）の目で見た「サイバーセキュリテイのABC」）

ESD21顧問・理事　鈴木明夫

一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

Association for Support of Economic Sustainable Development for 21st Century

ESD21の新しい風を、企業に、地域に、そして国の未来へ

1. 非営利団体として2010年に設立の非営利団体
（会員数：法人５０社、個人１００名）

2 事業目的

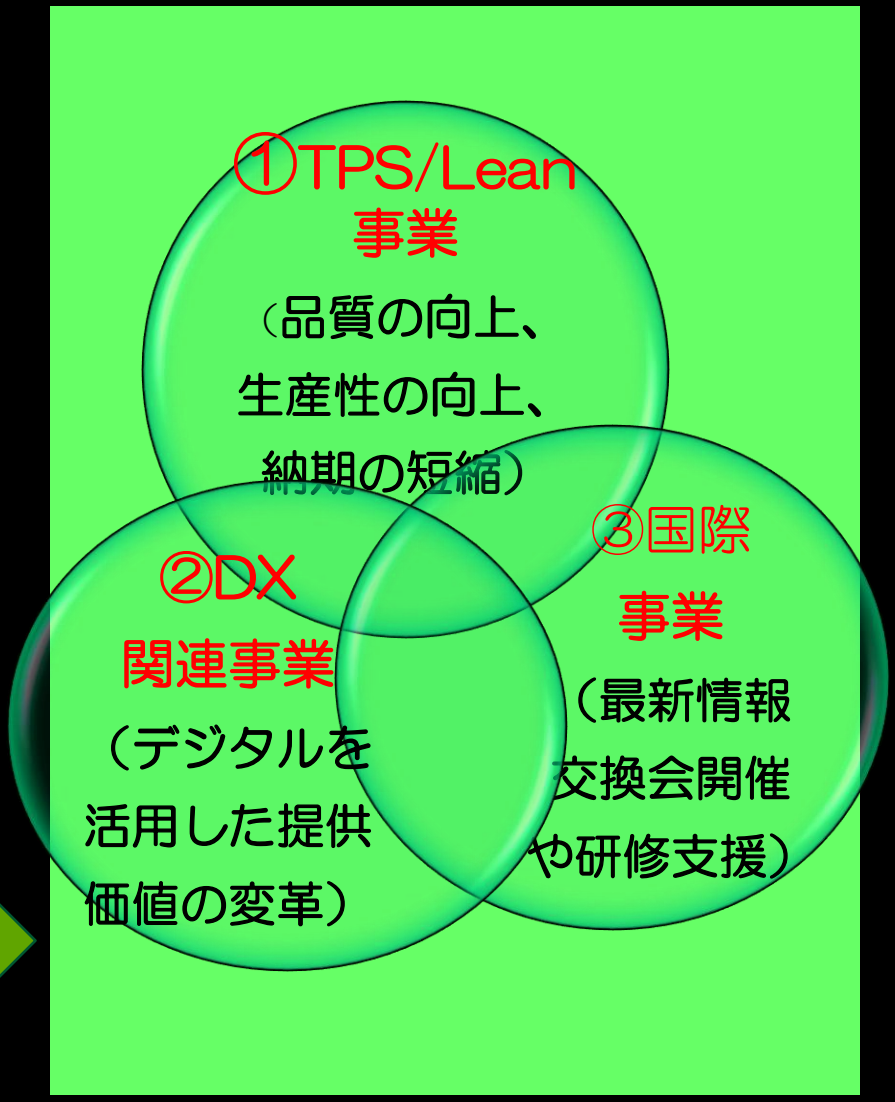
1）自動車中心の東海地区製造業に、情報化新時代（DX）推進への啓蒙活動。

2）TPSを製造業のみならず、非製造業及びITソフト開発分野等、サービス業への展開を支援。

3）TPSとITの活用ノウハウを共有し、会員の相互研鑽により、新製品・新事業の創出, 新市場支援等企業競争力の向上に寄与。

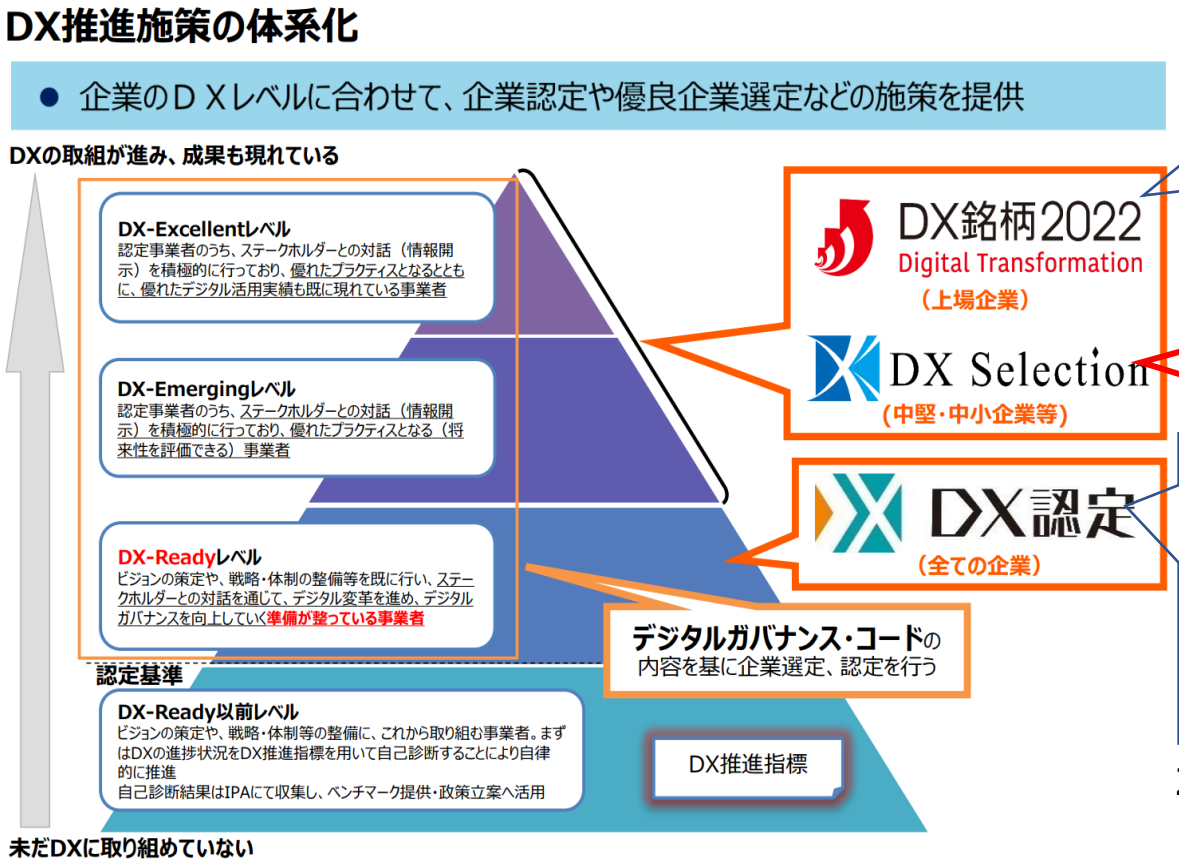
4）技術とマネジメント力等経験豊富な企業OB会員の、生涯現役、社会貢献、QOL向上を図り、会員相互のコラボレーションの場を提供し地域の活性化に寄与。

TPS + IT =DX(Digital Transformation



愛知県は大手製造業のDX展開の強化が必須

自動車産業ではOEM,Tier1がDXに真剣に取り組まなければ，中堅・中小企業のDX展開は進まない.愛知のDX認定企業は48社と多くなく,DX銘柄は3年間ゼロ.



DX銘柄企業は
2021,22,23,
3年間とも愛知県はゼロ

2024DXセレクションは
協和工業（株）選定受賞
伴走支援：ESD21,USP研究所

東京都：567
大阪府：　91
愛知県：　48
神奈川：　28
京都府：　23

2023年10月31日

愛知県のDX認定企業は多くはない

トヨタG: 14
中小企業：14
製造業：15
情報通信：9

引用：DX認定制度概要～認定基準改訂及び申請のポイント～　2022年10月1日 経済産業省

東海地区のICT/デジタル化/DX関連団体

本日のシンポジウム後援団体

- **中部DX推進コミュニティ**（中部経産局）
  と構成団体（ソフトピアなど）
- **あいち産業DX推進コンソ**（愛知県）
  と構成団体（愛知県経営者協会）
  あいちDX推進プラン2025
- **業界団体**
  - ○愛知県情報サービス産業協会(AiA)
  - ○(一社)愛知県鉄工連合会
  - **○日本自動車部品工業会**
  - **○日本自動車工業会**
  - ○組込みシステム技術協会（JASA）
  - ○東海情報通信懇話会(岩田彰)
- **学会**
  - ○情報処理学会
  - ○経営情報学会
  - ○経営工学会
  - ○中部PM学会
  - ○生産管理学会
- **支援団体**
  - ○中小企業診断士協会
  - ○ITC中部

あいち産業DXコンソ登録の関連団体

consortium-member2021.pdf (aibsc.jp)

- (一社)愛知県金属プレス工業会
- 愛知県経営者協会
- 愛知県商工会連合会
- **(一社)愛知県情報サービス産業協会(AiA)**
- (公財)愛知県中小企業診断士協会
- **(一社)愛知県鉄工連合会**
- **(公財)あいち産業振興機構**
- **NPO法人ITC中部**
- (公財)科学技術交流財団
- **(一社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会**
- (独行)中小企業基盤整備機構中部本部
- 中部アイティ協同組合
- (一社)中部経済連合会
- (一社) 中部品質管理協会
- 東海総合通信局
- 名古屋国際工科専門職大学
- 株式会社名古屋コンサル21
- (一社)日本ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾎｰﾒｰｼｮﾝ推進協会

DX推進のための鳥（経営者）の目で見た「サイバーセキュリテイのABC」）

共同編集者

ESD21理事　山田眞佐代（NTT出身 ）

株式会社　Career-bridge　取締役

BSIグループジャパン株式会社　　認定主任審査員（ISMS、CLS、QMS)

ＢＳＩ認定主任審査員

保有資格：　ISMS（ISO/IEC 27001）QMS（ISO 9001）

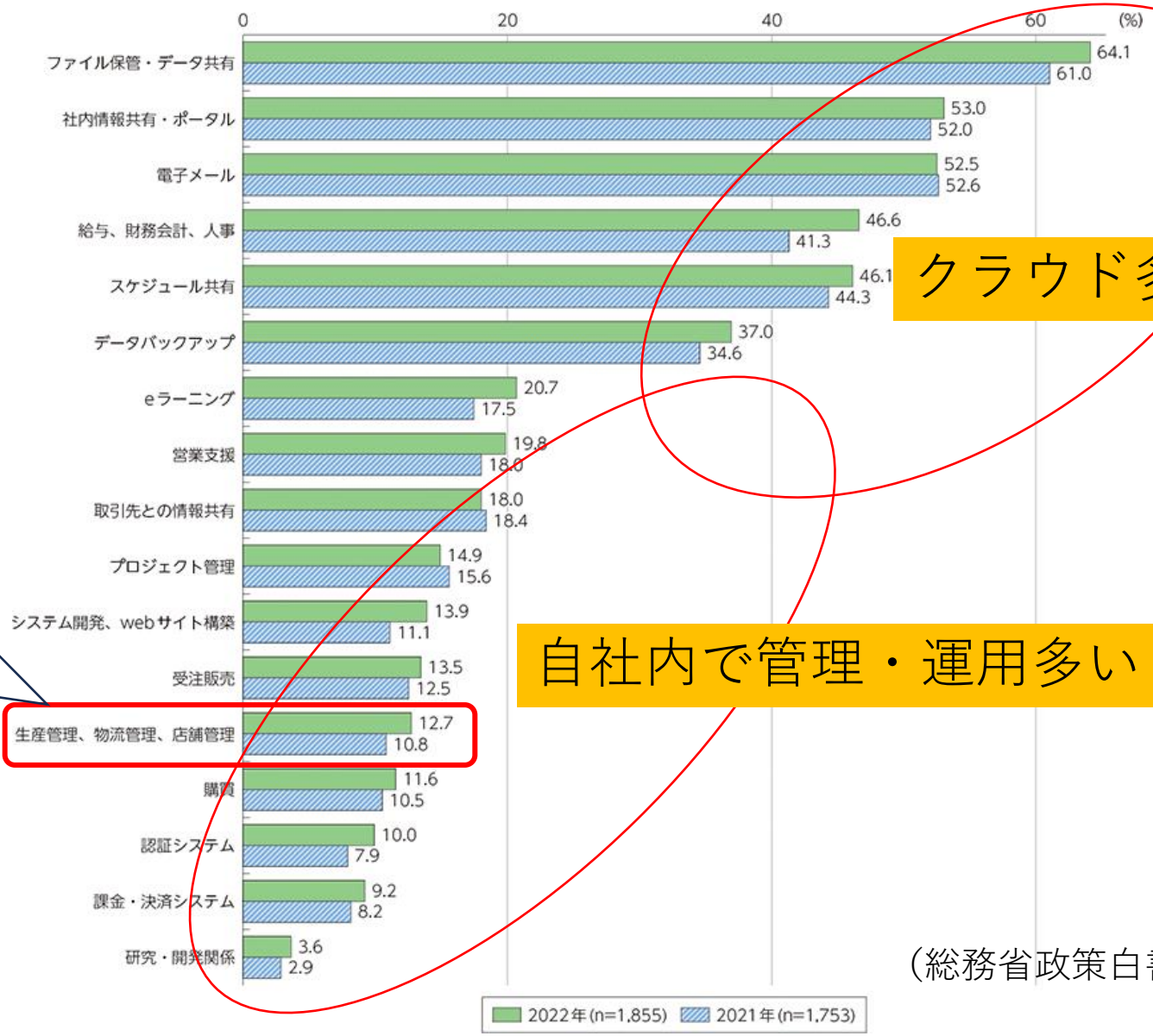
CLS（クラウド審査　ISO/IEC 27017　ISO/IEC 27018

STAR（CSA））　等

・公認情報システム監査員（CISA）・ITコーディネーター

・ネットワークスペシャリスト・データベーススペシャリスト

企業において利用しているクラウドサービスの内容



クラウド多い

自社内で管理・運用多い

生産管理

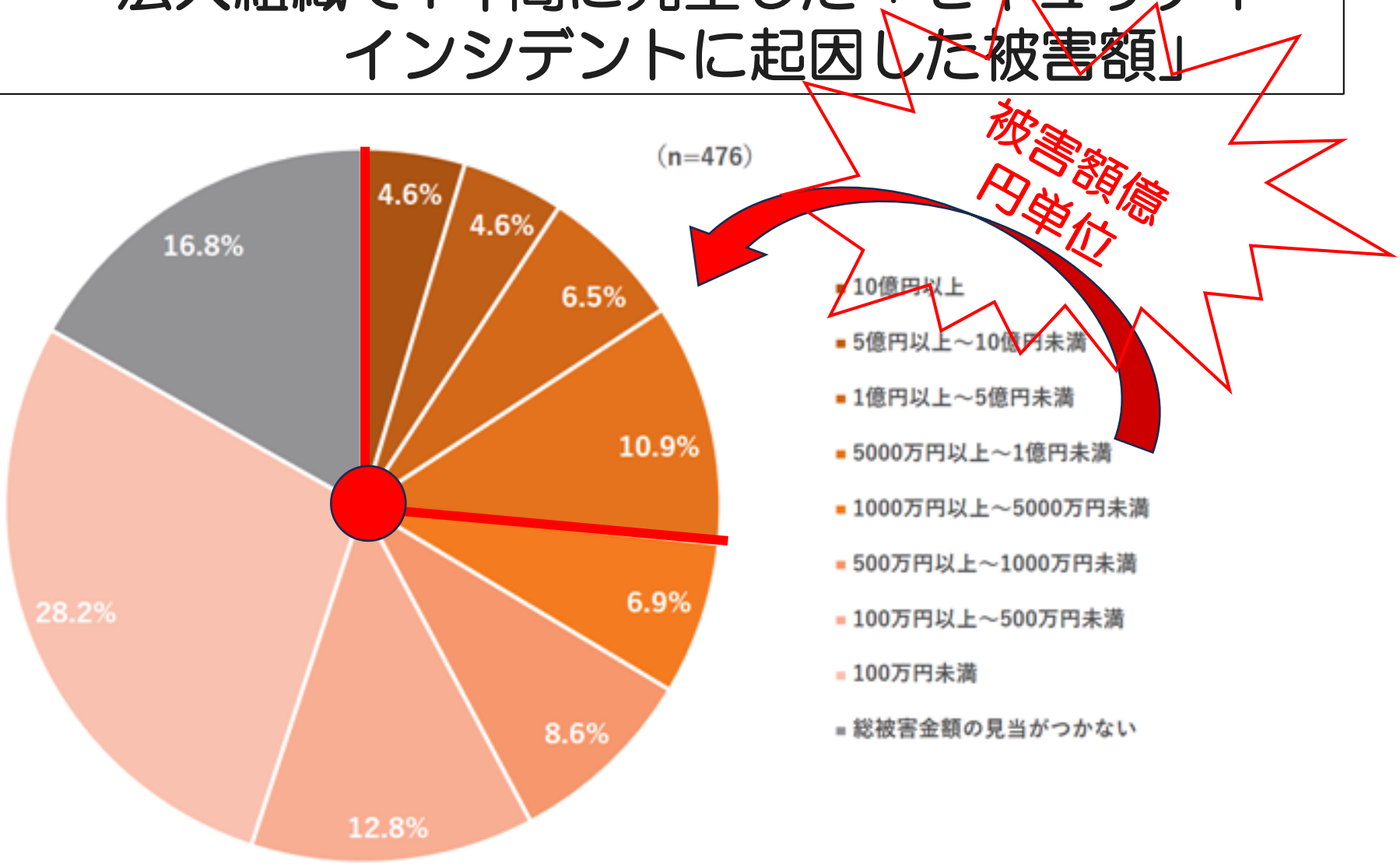
物流管理

店舗管理

等

（総務省政策白書令和5年版）

法人組織で1年間に発生した「セキュリティインシデントに起因した被害額」



引用：トレンドマイクロ|法人組織のセキュリティ動向調査 2020年版を発表

情報セキュリティ10大脅威 2024

「個人」向け脅威（五十音順）

詐欺

- インターネット上のサービスからの**個人情報の窃取**
- インターネット上のサービスへの**不正ログイン**
- クレジットカード情報の**不正利用**
- スマホ決済の**不正利用**
- 偽警告によるインターネット**詐欺**
- ネット上の誹謗・中傷・デマ
- フィッシングによる個人情報等の**詐取**
- 不正アプリによるスマートフォン利用者への被害
- メールやSMS等を使った**脅迫・詐欺**の手口による金銭要求
- ワンクリック請求等の**不当請求**による金銭被害

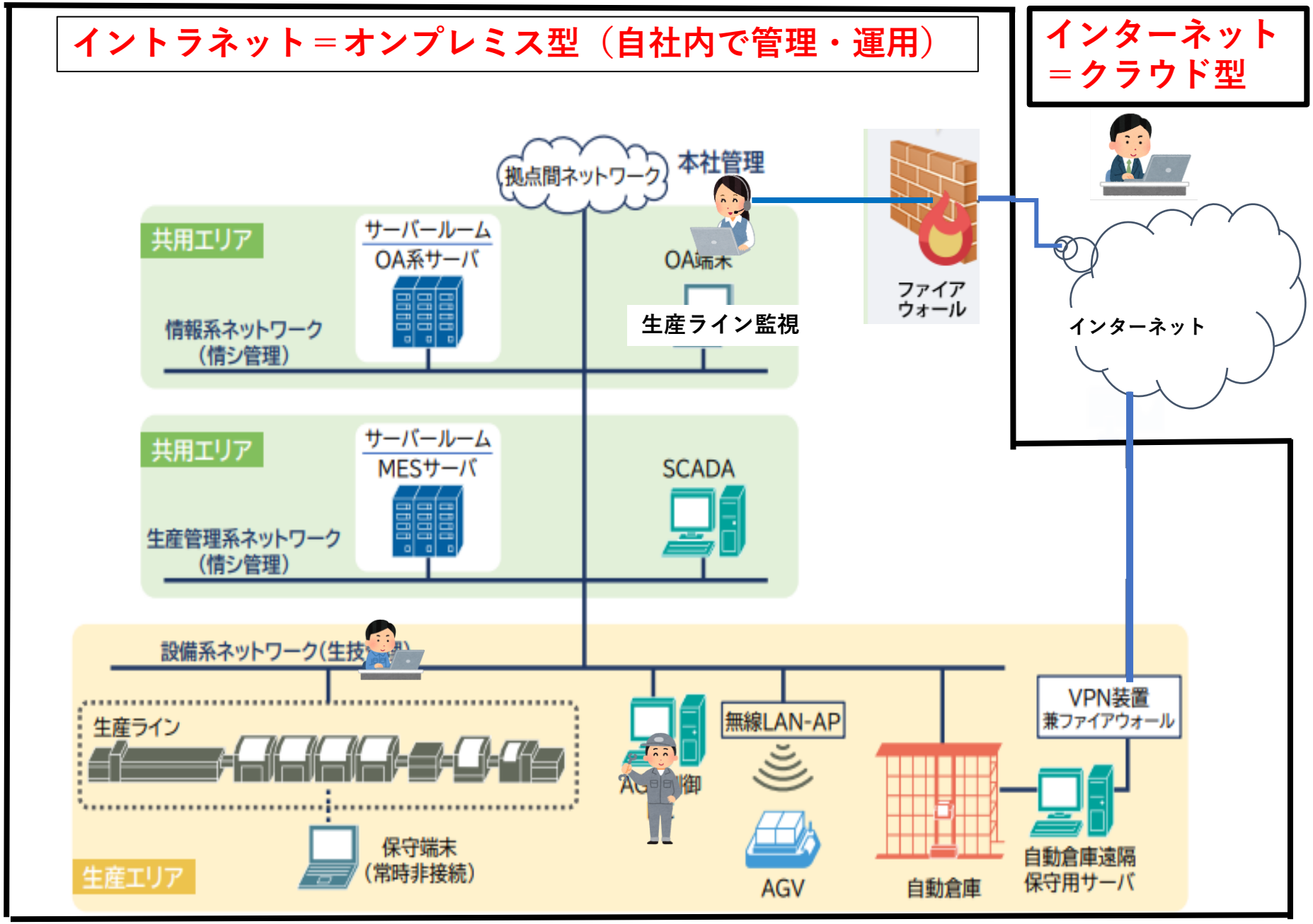
「組織」向け脅威（1～10位）

攻撃・感染

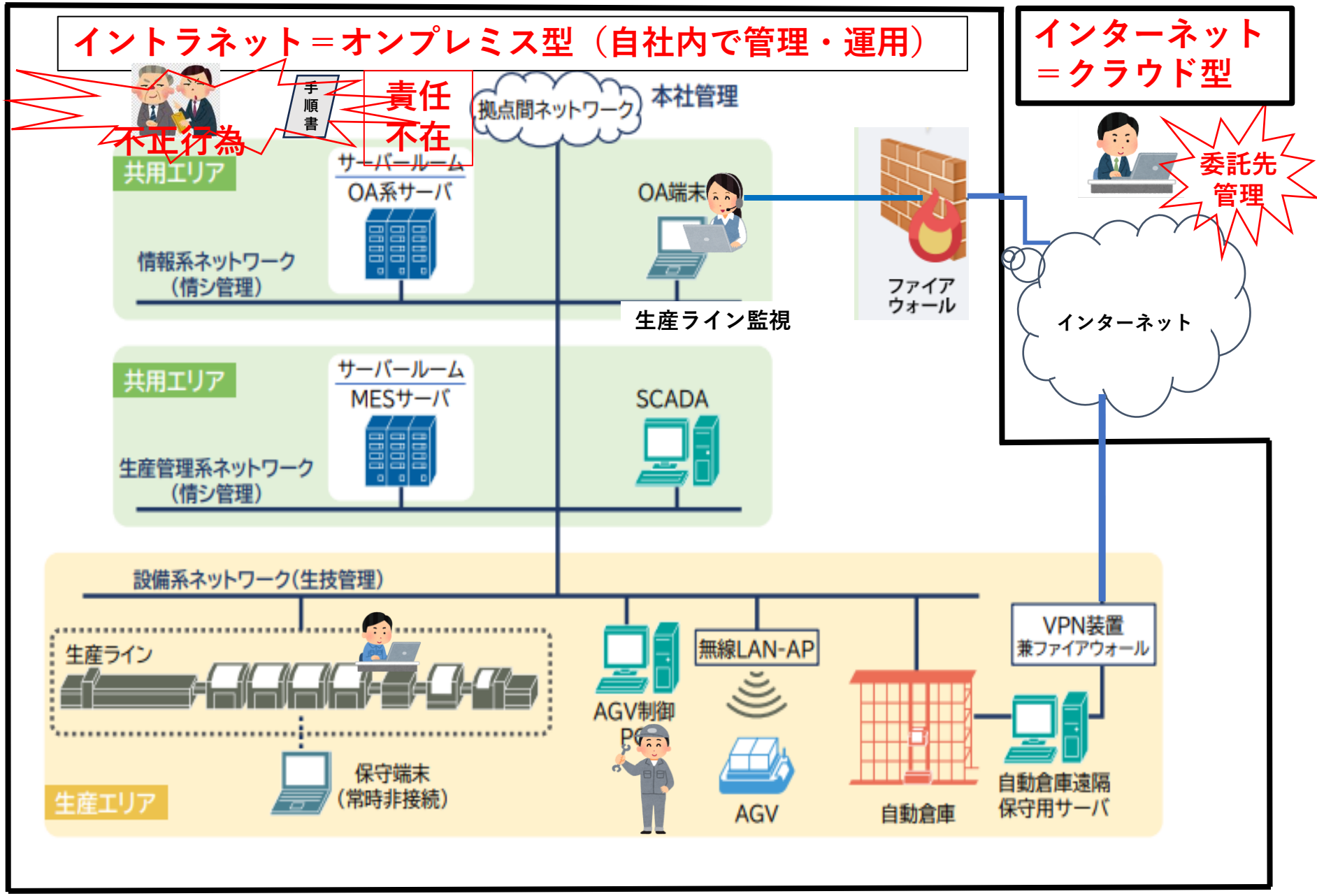
1位	ランサムウェアによる被害 ファイルの暗号化による使用不可 金銭の要求など （Ransom身代金）
2位	サプライチェーンの弱点攻撃
3位	**内部不正**による情報漏えい等の被害
4位	**標的型攻撃**による機密情報の窃取
5 位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃 (ゼロデイ攻撃)
6位	不注意による情報漏えい等の被害
7位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害
9位	テレワーク等のニューノーマルな 働き方を狙った攻撃
10位	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンド サービス)

引用：IPA 独立行政法人情報処理推進機構「情報セキュリティ10大脅威 2024」

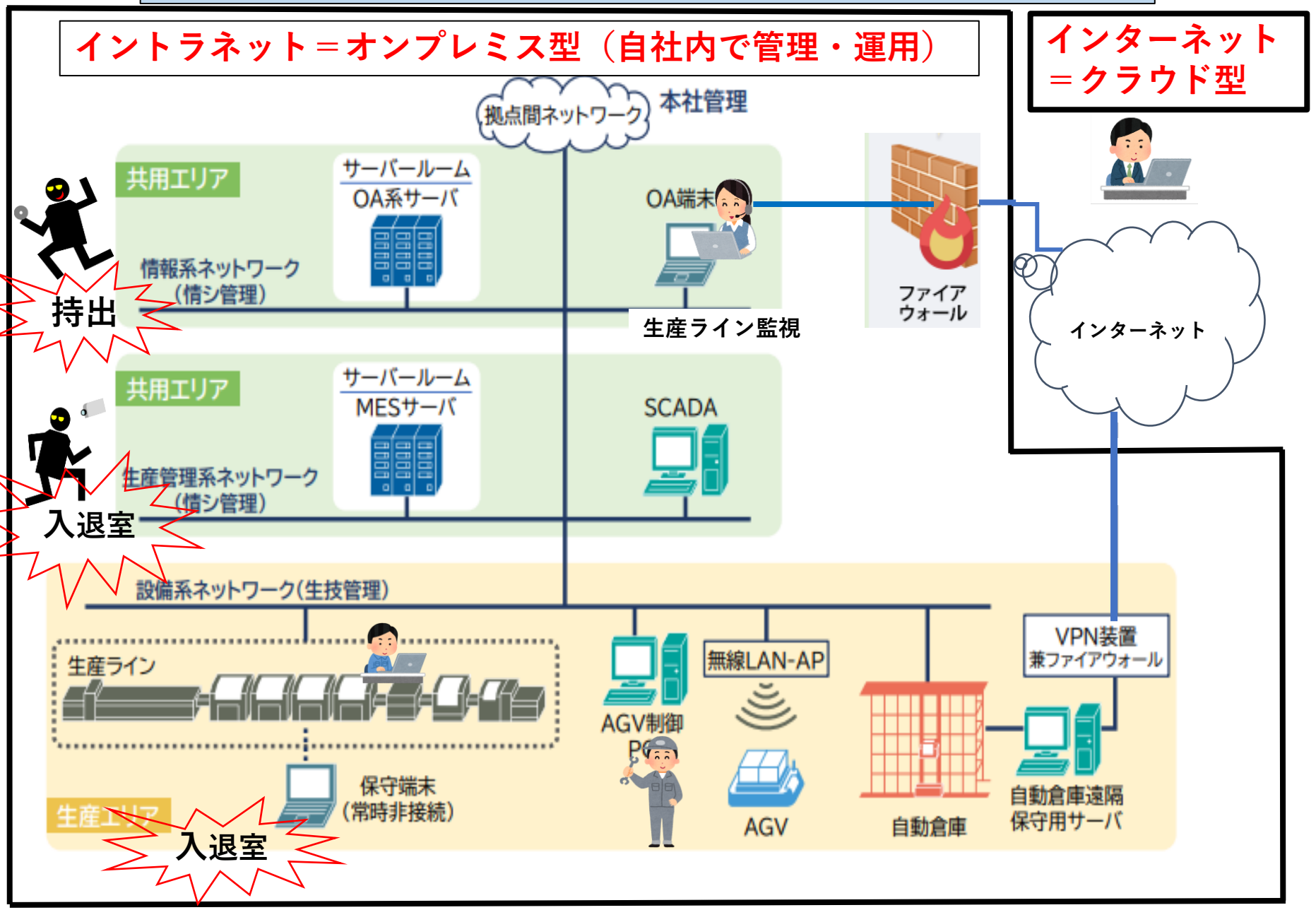
製造業システムのサイバーセキュリテイ標準対策の例



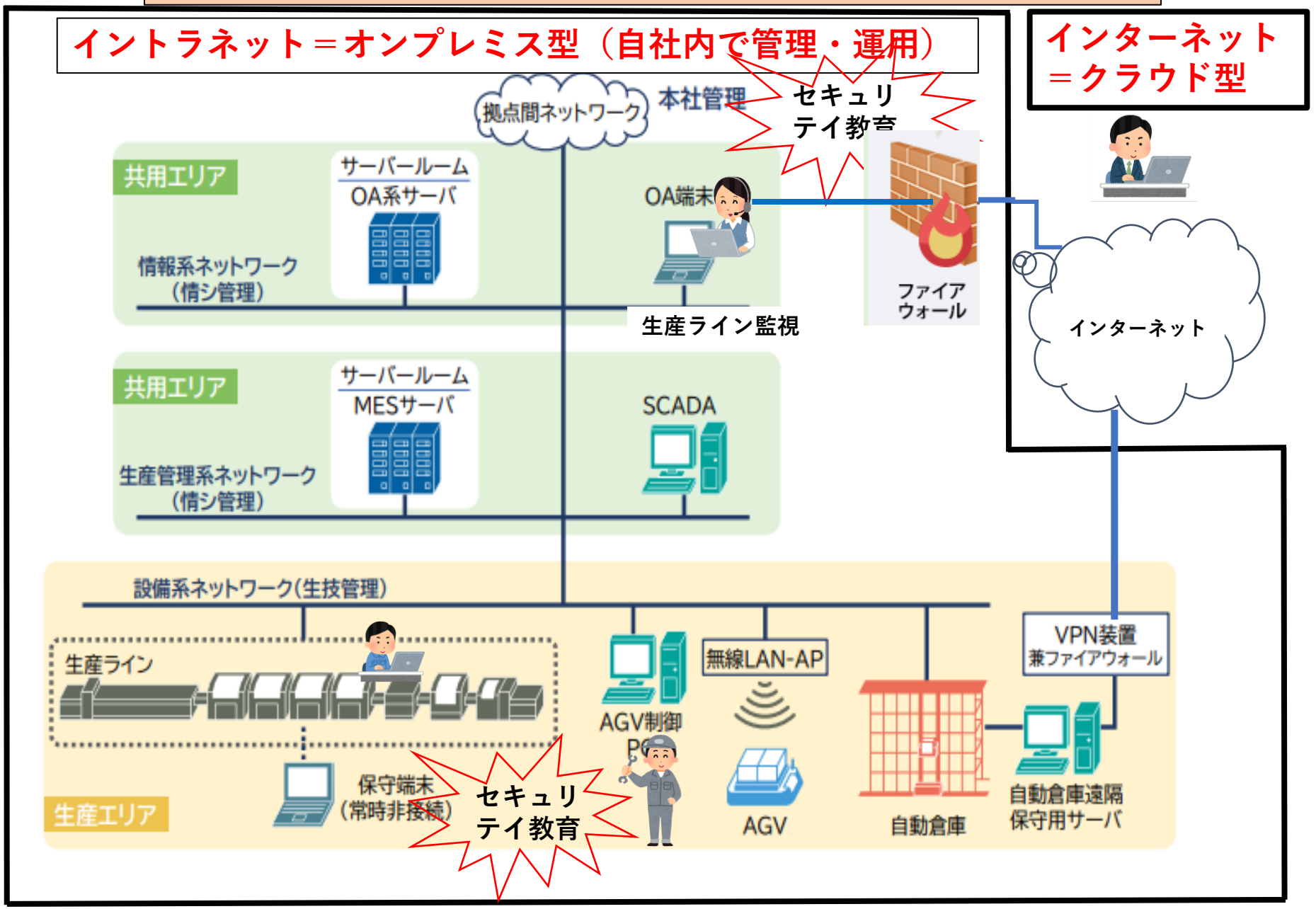
サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威（①社内組織）



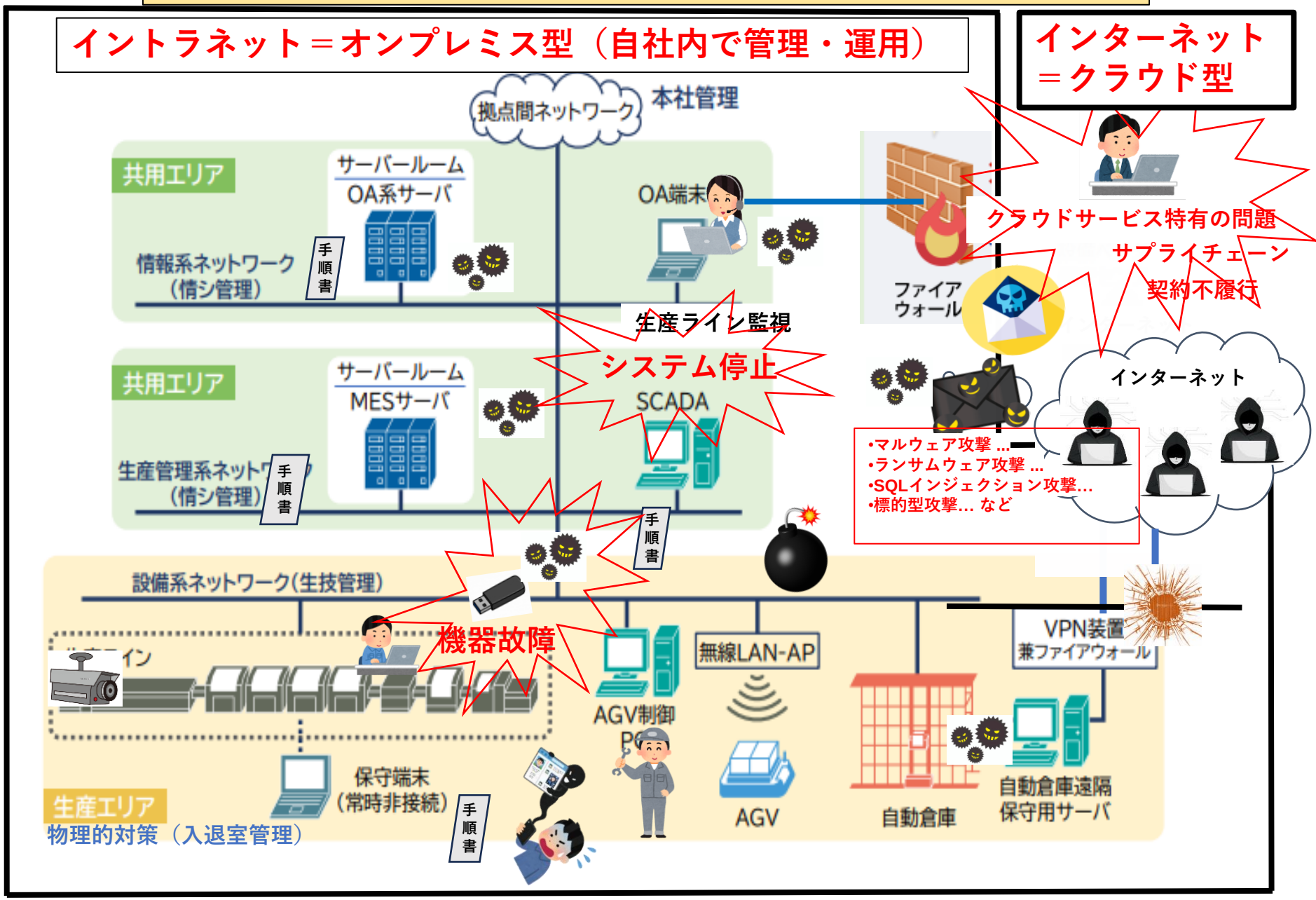
サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威（②物理的）



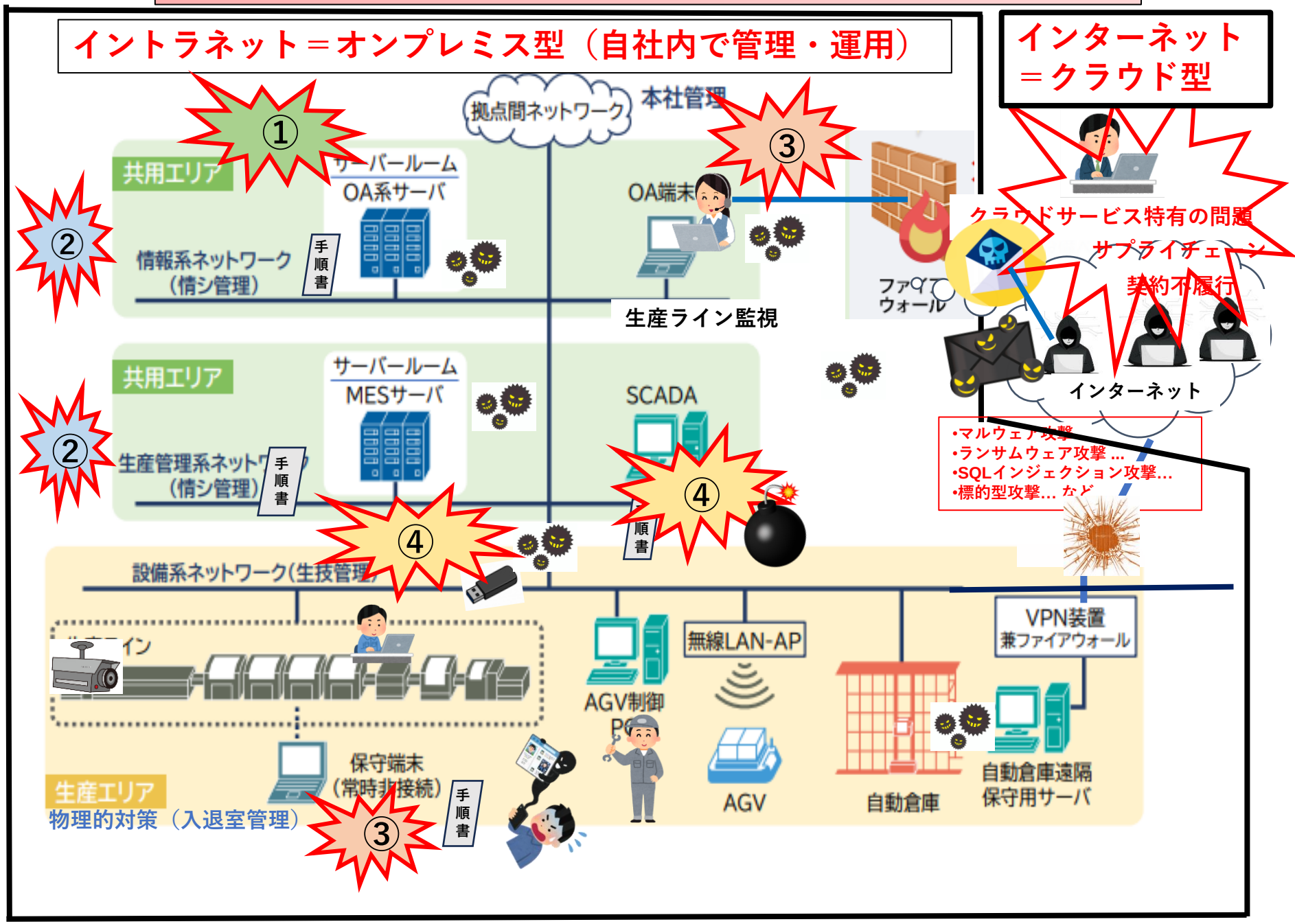
サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威（③教育）



サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威（④技術）



サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威（①②③④全体）



サイバーセキュリテイーの脆弱性・脅威への対策1

マネジメントシステム　ISO/IEC27001認証

組織体制

①

組織的対策

委託先管理（サプライチェーン）

＜組織・体制による対策＞
組織体制整備、委託先管理・手順規則など

共用エリア　生産エリア

②

物理的対策

＜盗難・破壊・紛失を防ぐ対策＞
入退室管理、持出管理など

情報資産

セキュリティ教育

③

人的対策

＜人による対策＞
従業者への教育、自動化など

生産ライン監視

④

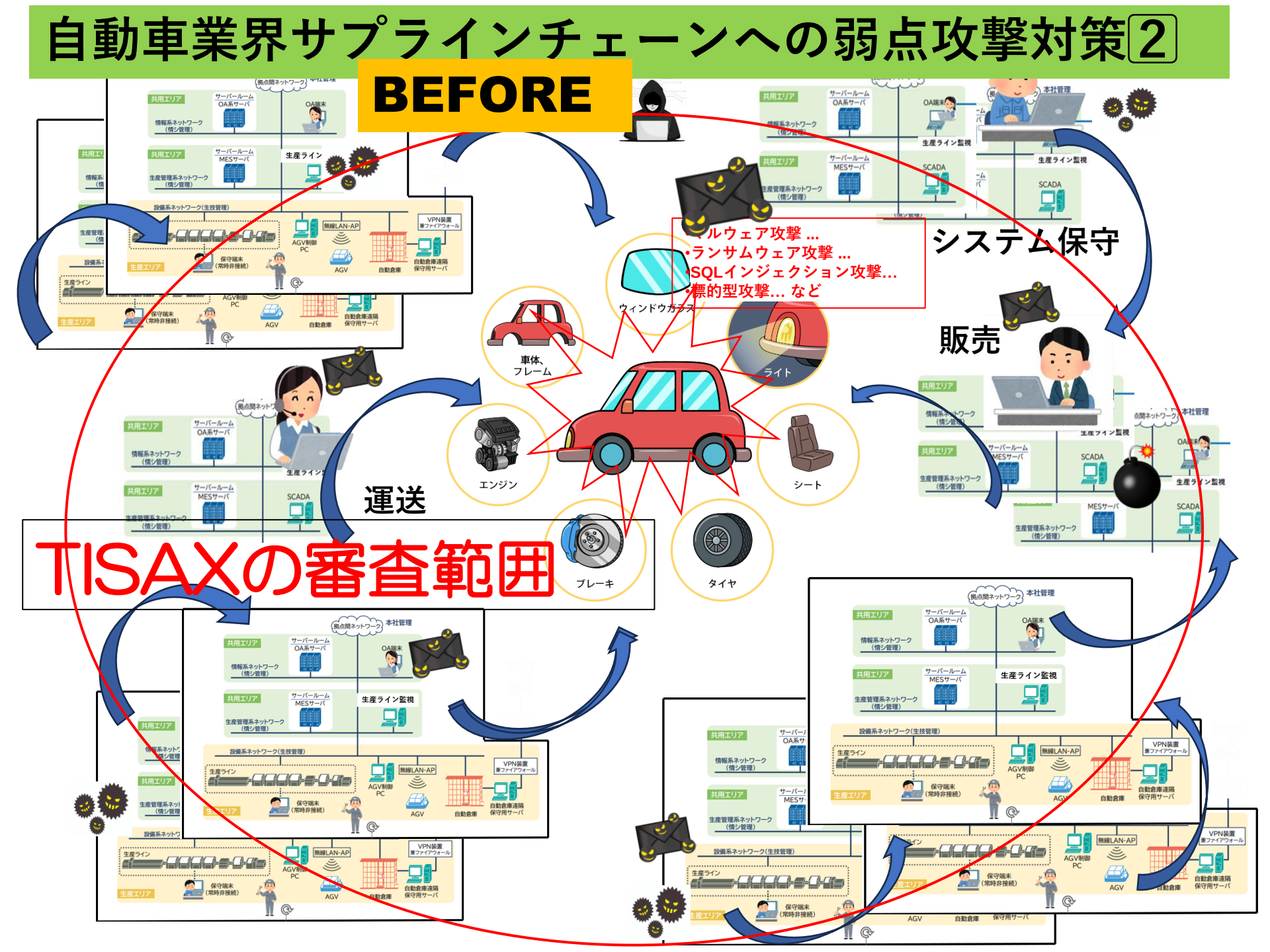
ファイアウォール

VPN装置
兼ファイアウォール

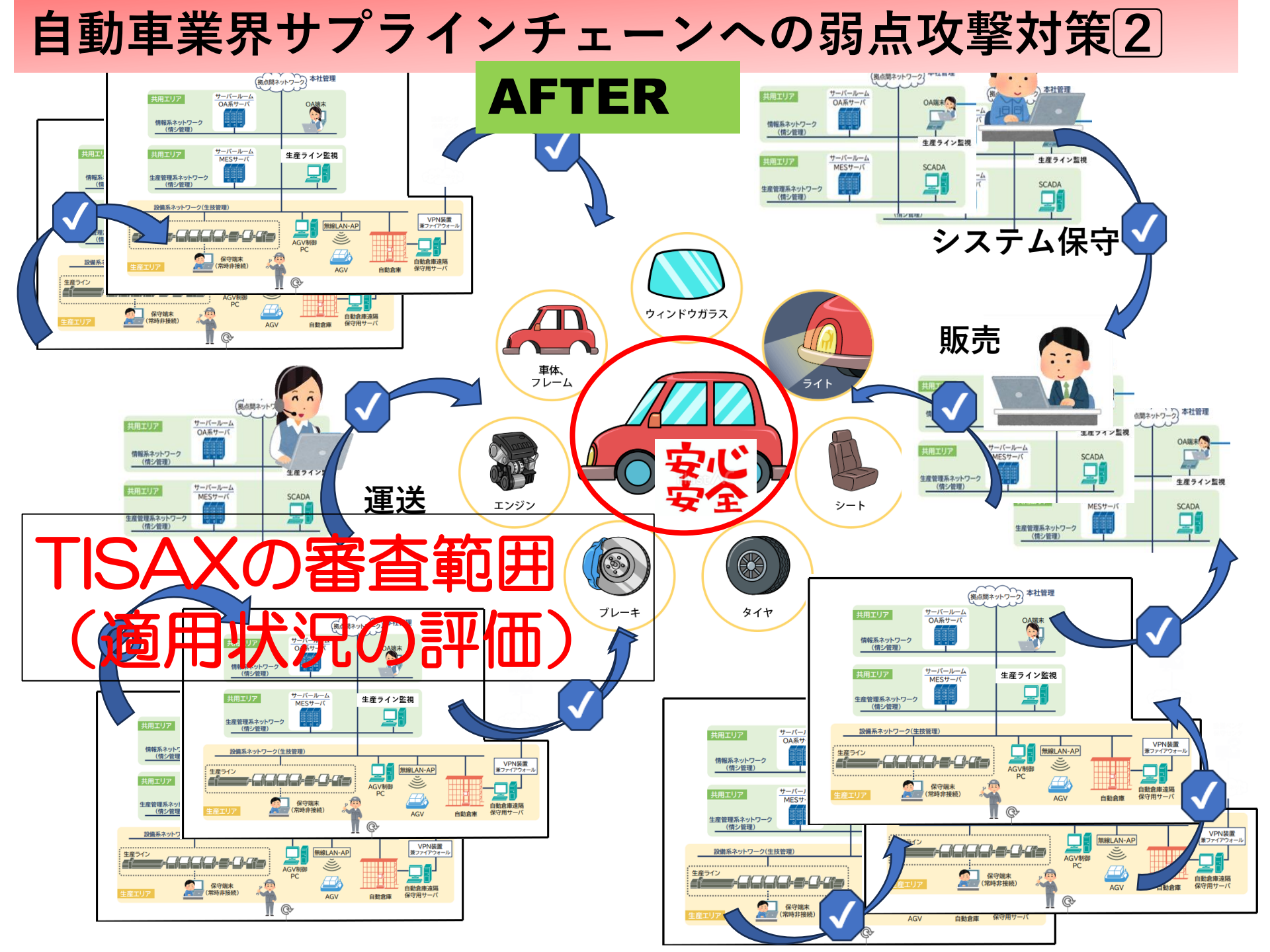
技術的対策

＜技術を使った対策＞
NW・セキュリティ製品・暗号技術など

自動車業界サプラインチェーンへの弱点攻撃対策2



自動車業界サプラインチェーンへの弱点攻撃対策②



DX時代に向けたサイバーセキュリテイー対策－最近の傾向

DX推進やクラウド利用増加による必要なセキュリティレベルの進化

A.「境界型防護型」＝「Trust　but Verify（信ぜよ、されど確認せよ）

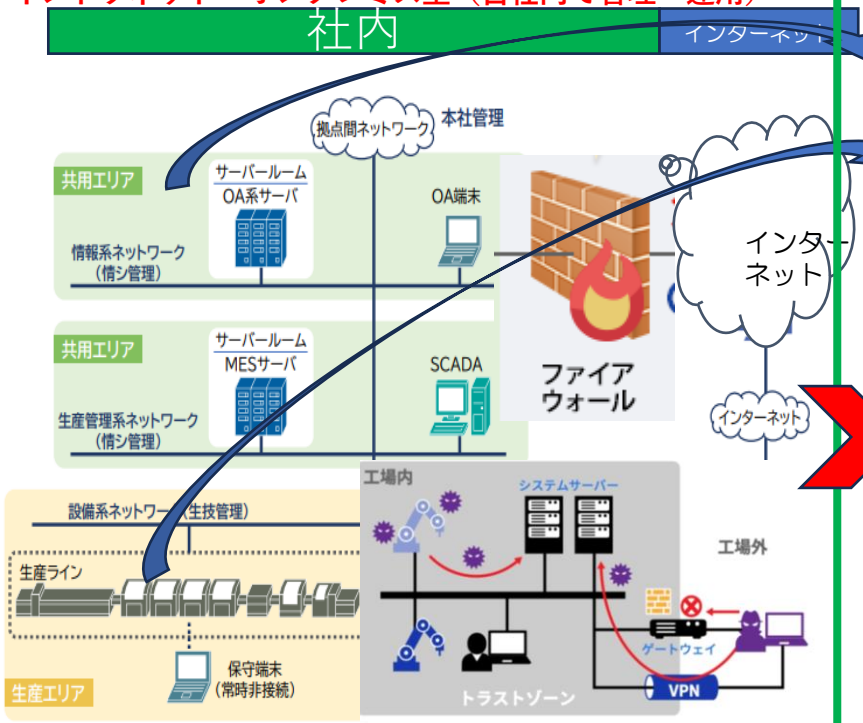
B.「ゼロトラスト型」＝Verify and Never Trust（決して信せず必ず確認せよ）

セキュリティの強化したクラウドサービスの活用業務が推進され、社内外とのコラボレーションも加速、働き方や企業文化が変革することで、新しい価値を生み出しやすい組織に変容し、外部環境にも柔軟に対応するための能力の向上も期待できるなど、DXの時代にふさわしい考え方。

A.境界防護型ネットワーク

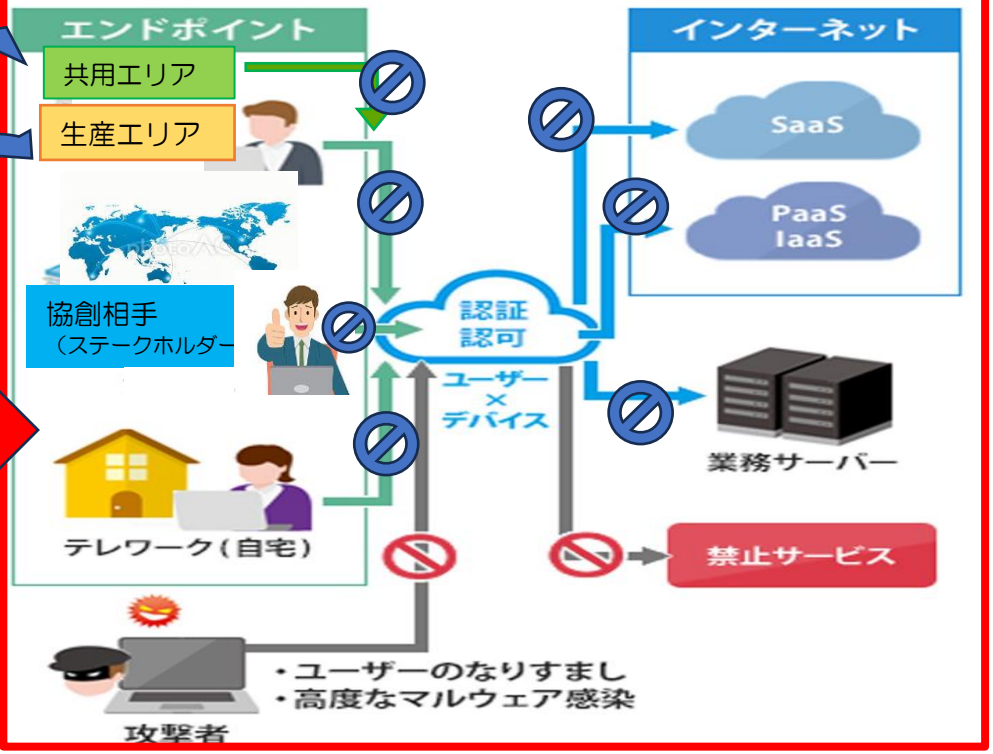
①境界内部(社内LAN）が信頼できる前提
②社内と社外の境界で侵入を防止する
③境界内部侵入を許すと全社内で脅威が拡散

イントラネット＝オンプレミス型（自社内で管理・運用）



B.ゼロトラスト型ネットワーク

①境界の概念を排除し脅威が境界を越えてくる
②デバイスがアプリ等の細かい単位で管理
③ユーザーとデバイスで認証認可しアクセス許可



本シンポジウムが，あいちのDX推進にさらなる活性化と発展つながることを期待しますと同時に本日ご参加の皆様のご健勝を祈念して挨拶とプロローグといたします